

滅びゆくもの 情報まとめ

依頼

新政府のアイヅ征伐が始まる。アイヅに義理立てし赤誠組を離れアイヅの城に籠もっていると思われる武藤一（ハジメ）を大和国に連れてくること。ついでに赤誠組の誰かを発見したら一緒に連れてくること。アイヅに勝たせる必要はない。赤誠組の関係者には正体を知られても可だが、正体を悟られないようにする必要がある。特に『ホオヅキ』や『大和』との関わりを知られないようにする必要がある。（前提を守れば貴族宣言はしても大丈夫）

ハジメについて

ハジメにとっては赤誠組の活動を支えてくれたアイヅの危機を黙ってみていることはできない。ハジメの説得は理詰めでも力づくでも困難。時を待つ必要がある。

赤誠組状況

赤誠組の残党は北の西洋式の城塞に向かってトートから船で移動している。トシヅもそちらにいるはず。既に赤誠組は新政府からはさほど脅威とは思われていない。大和で保護している赤誠組の元隊士は飛び出さないようにしてある。赤誠組の残党はトートに本来の主君筋（将軍）がいた。アイヅを守るかトートを守るかで割れたが、トートは無血開城した。

アイヅ状況

アイヅ征伐の新政府側の戦力は不明。アイヅ側は二千程度。アイヅにとっては絶望的状況。新政府側には名のある将はいない。数で押し潰すのみ。武装は刀や槍や弓や鉄砲。士気を挫くために大砲を保有している。アイヅ城周囲の地形は北側が山地で、残りの三方に整備された通りやすい街道があり軍隊が行動できる。北には獵師が使う獣道程度。アイヅ城は攻め側を殲滅するような思想では築城されておらず、本気で防衛したいなら城内に敵兵を入れないようにする必要がある。城壁の高さや防衛設備はしっかりしている。大軍相手なら門を守れば充分。門を封鎖する仕掛けは門程度。地形的には守りやすいが少数部隊での包囲は十分に可能。街道の両側はだいたい森になっている。南の街道が一番大きいがさほど差はない。小規模な部隊であれば、街道以外でも充分に行動は可能。アイヅに内応者の噂はなく、城内の士気も高い。物資兵糧の心配もない。女子五百名で構成した朱雀隊がいる。天気は快晴。

アイヅ公について

善政を敷き、城の防御よりも街道の整備を優先。人望有り過ぎ。

その他状況

現状では大和国が新政府から疑われるようなことにはなっていない。脱出に使えるポイントは多数あり、国内のどこに逃げても大丈夫そう。